

令和8年度 第1回 和地小学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和8年5月13日（水）13時30分～15時30分まで
2. 開催場所 和地小学校 相談室
3. 出席委員 松木 和見、田中 恵子、牧田 眞喜夫、岡井 保、牧田 正稔、  
浦岡 紀子、鈴木 裕美、高林 秀平、下位 真由美
4. 欠席委員 宇津山 茂
5. 学校支援コーディネーター 山本 真紀、松尾 隆廣
6. 学校職員 青島 秀典（校長）、櫻井 利幸（教頭）、中西 啓介（主幹教諭）
7. 傍聴者 なし
8. 会議録作成者 中西 啓介（主幹教諭）
9. 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) 今年度の取組について
- (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

10. 会議記録

会長選出

司会の教頭から、会長の選出について意見を求めたところ、宇津山委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。本人欠席のため、本人の意思確認後、決定とする。

(1) 学校運営の基本方針について

資料参照。〈最上位目標〉「教育をもって児童の成長に貢献する」

〈学校教育目標〉「自ら考え 高め合う」

を大切にした教育に取り組んでいきたい。（校長）

いじめ対応フローチャートの資料参照。

令和8年度 浜松市立和地小学校いじめ防止基本方針の資料参照。

みんなが安心して過ごせる学校への資料参照。（6月の全校朝会）

・応援で言った言葉が相手を嫌な気持ちにさせたことがあり、応援をしづらくなったことがあった。どのような指導をしていけばよいか。（高林委員）

→「自分がしてほしいことをしない」という指導から「相手がどう思うか考えていこう」と指導していかななくてはいけない。（青島校長）

→やっではないけないことを挙げるより、いいことを伝えて褒めてあげたい。肯定感を高める指導をしていきたい。（松木委員）

→話す前に考えられるようになったことを成長ととらえていきたい。（浦岡委員）

→中学への土台を今作っていると考えればよい。前向きに考えたい。（鈴木委員）

→いじめに対する前向きな考え方が保護者全体に広がるとよい。（高林委員）

- ・いじめに対する定義を考えると窮屈になったと感じる。親は子供の味方であってほしい。(田中委員)
- ・子供の不満の8割は聞いてあげると解決する。親子でしっかり話ができるよい。学校がこれだけ気にかけてくれるのはありがたい。(鈴木委員)

## (2) 今年度の取組について

### 和地っ子応援団の活動について

- ・これまでの活動について。
  - (下校補助、給食補助、奉仕作業、あさがおの種まき、野菜の苗植え、交通安全リーダーと語る会、プールの監視、30分間回泳、調理実習補助、タブレット学習 etc.)
- ・着にくいエプロンを着用している児童がいる。(下位委員)
  - 担任から親へ連絡するとよい。(松木委員)
  - そもそもエプロン持参になったのは匂いの問題があるから。(青島校長)
- ・食品のアレルギーも多い。(眞喜夫委員)
- ・学校運営協議会と給食を食べる会を開きたい。(松木委員)
  - 第2回を給食からの授業参観にしてはどうか。(青島校長)

## (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

- ・意見書についての説明(教頭)
- ・料理クラブの先生は確保できたか。(松木委員)
  - 数名の応募があった。(教頭)

## (4) その他

### 本年度協議会の目標について

- 「令和7年度 学校運営協議会自己評価表〈評価項目4〉」参照。
  - ・全員異議なくこれを承認した。
    - 「学校支援ボランティア謝礼や予算について」資料参照(山本委員)
  - ・ボランティア活動なので謝礼は無でよいのではないか。ただ、読み聞かせは以前より活動をしていたこと、活動の頻度が多いこと、準備が大変なことがあげられるのであってもよいと思う。しかし、ちょっとでも引っかかる気持ちがあるのならば全体で無にしてもよいのではないか。(田中委員)
  - ・奉仕作業の時には草刈り機を持ってきてくれた人などには燃料代や刃物代として「子供サポート」から謝礼を出してもいいという話が出ている。(鈴木委員)
  - ・奉仕作業の軽トラを出している人には子供サポート環境部としてお礼を出そうとしている。(下位委員)
  - ・和地っ子応援団の成り立ちを考えると、お礼をもらうのは気持ちが悪い。応援団の活動は自分のためにやっている。(松尾委員)